

7. ワークショップ1 [気体反応実験装置の製作と使い方]

指導：ヴィクター・オベンドラウフ教授

a) 気体反応実験装置

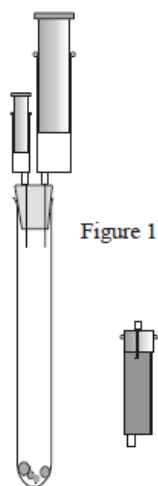


Figure 1

ゴム栓 (Verneret製) 18D
試験管 (Fiolax製) 16/160 mm
注射針 2本 1,2/40 mm

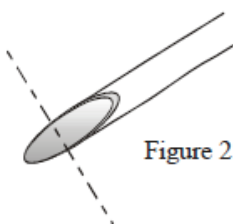


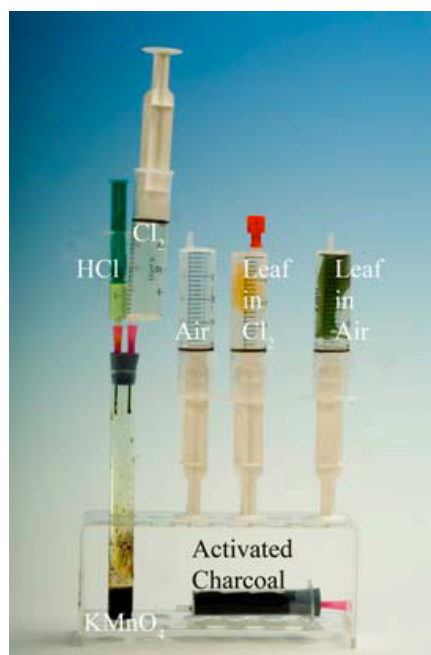
Figure 2

注射針の先端を切り落とす

b)

安価な気体発生装置

- 試験管 (Fiolax製 16/160mm)
- ゴム栓 (Verneret製) (柔らかい素材, 18D)
- 2本の針を栓に差して置く (1,2/40 mm; 先端を切る) (Normject製) 1本 (動かないように固定)
- 20 mlの注射器 (ONCE製) 1本 (ピストンのゴムには、特殊なシリコン油を塗しておく)
- 10 mlの注射器に粒状の活性炭を詰めておく

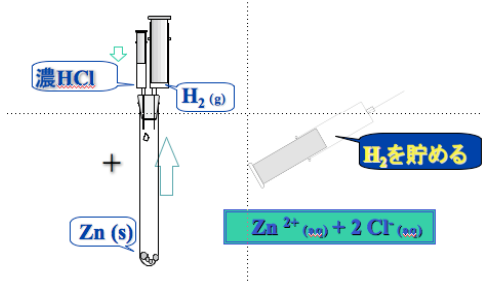


c) 気体反応キット



d) 水素、酸素ガスの発生実験

安価な水素発生実験



安価な酸素発生実験

